

第1回九州産業大学オープンキャンパス2007 実施報告

稲永 健太郎
INENAGA, Kentaro

九州産業大学 情報科学部 社会情報システム学科
Department of Social Information Systems, Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University
inenaga@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~inenaga/>

1. はじめに

第1回九州産業大学オープンキャンパス2007が2007年7月29日(日)に開催されました*1。情報科学部ではオープンキャンパスの取り組みとして、模擬講義や各研究室・研究会による体験イベントおよび研究室紹介、高校来訪における施設見学の経験を活かしたツアー形式の施設自由見学、教員による進学相談等の各種イベントを実施しました。本稿では、これらの取り組みを含めた情報科学部に関連する各種イベントについて報告します。

2. 実施方針

2.1 基本方針

「高校生には夢と希望を」「父兄には安心を」の2つをモットーに、来て楽しめ、かつ情報科学部への入学に期待と希望を持って帰宅してもらえるような内容としました。

2.2 実施体制

会場の準備運営や体験イベントは研究室の学生を中心としており、加えて情報システム研究会や募集に応じたボランティアのメンバが参加しました(詳細は表1を参照)。模擬講義・進学相談・施設自由見学は、教員を中心に学生の協力を得て実施されました。

表1 学部イベントのべ学生参加者数

| 所属種別 | 人数 |
|-----------------------------|-----|
| 研究室 (10 研究室の参加) | 52名 |
| ボランティア (進学相談補助学生 1名を含む) | 2名 |
| 情報システム研究会 (研究室への重複参加 3名を含む) | 13名 |
| 計 | 67名 |

2.3 実施場所

12号館1階ロビー(一部のイベントでは12102教室)に体験イベント・研究室紹介のブースを用意し、ロビー

近くの教室(12104番教室)で模擬講義を午前・午後の2回実施しました。施設自由見学については、3階のメインサーバ室や学生実験室、1階のマルチメディア教室(12107番教室)等12号館全体を見学するコースを設定しました。進学相談については、2号館1階ホール(全学総合案内・受付そば)および12号館1階の2箇所を実施しました。

3. 実施内容

研究室の学生を中心とした実施体制が3年目を向かえ、準備から運営までを円滑に行うことができました。これまで同様、情報システム研究会の参加やボランティアの参加もあり、より学部全体がまとまった形での活動となっていました。

3.1 模擬講義

情報科学部では午前と午後に模擬講義が12104教室で実施されました。模擬講義はインターネットを使ったイベントの一環としてロビーと中継(また同時に録画)が行われ、ロビーから模擬講義の様子を見ることができるようになっていました。

§1 絵字たるデジタル〜符号化の話〜

朝廣准教授によるこの講義では、画像が符号化されて処理されていることについて身近な例を用いて分かりやすく説明されていました(図1)。

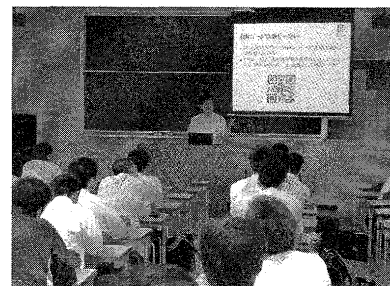


図1 模擬講義(朝廣准教授)

*1 第2回九州産業大学オープンキャンパス2007は2007年10月21日(日)に開催されます

§ 2 画像認識技術の応用 -カメラを使って体の動きを入力する技術-

米元准教授によるこの講義では、人間の体の動きをカメラで捕らえその情報をコンピュータに入力する技術について、動画を駆使した資料を使って分かりやすく説明されていました。

3.2 体験イベント・研究室紹介

12号館1階ロビー（一部のイベントでは12102教室）において以下の体験イベント・研究室紹介を開催しました（図2, 図3, 図4, 図5, 図6, 図7, 図8, 図9, 図10）。イベントには研究室を主体としたものに加え、情報システム研究会によるイベントを設置しました。また、ロビー入り口には情報科学部受付・総合案内を設けました。

開催した体験イベントおよび研究室紹介は以下の通りです（順不同）。

- 田中・安武研：ホームページを作って、自分の携帯電話でアクセスしてみよう！～iアプリのダウンロードもできるかもよ！～
- 澤田研：オリジナル名刺を作ってみよう！
- 古井研：あなたの知らないグループウェアの世界～つながる広がるみんなの輪～
- 石田研：Java アプレットによる仮想電磁波実験
- 下川研：インターネットの入り口を作ろう！
- 情報システム研究会：ハードウェア部門 / 情報科学部のシステム設計教育教材 / iアプリゲーム作品展示 / Flash: 情報科学部紹介 / データベースを利用したウェブサイト(ゲーム)の展示
- 松永・合志研：君はおっとりタイプ??それとも先急ぎ?? / 君に運転適性があるか調べてみよう! / ドライビングシミュレータ / 反射神経テスト / 三画面ドライビングシミュレータ / 情報科学部クイズ / 安全運転とは何だろう? / 自分の足を知ろう!! / 2号館と12号館往復中!!
- 成研：Webの世界を体験しよう
- 米元研：webカメラで画像認識技術を体験しよう / 物体を追跡してみよう / 手書きスケッチから3次元モデルを生成しよう
- 成・牛島研：IC タグで遊ぼう
- 松本研：君の問題を解決しよう!

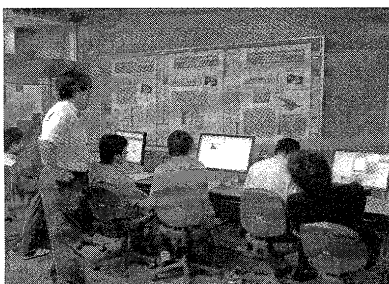


図2 田中・安武研究室



図3 澤田研究室

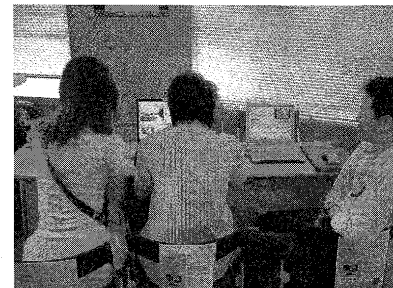


図4 古井研究室

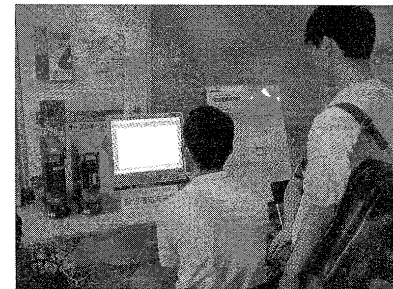


図5 石田研究室



図6 下川研究室

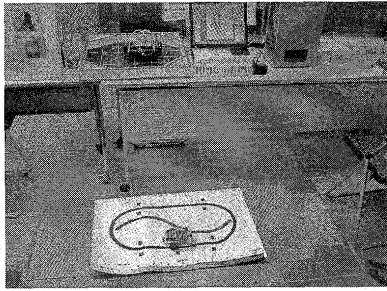


図7 情報システム研究会



図8 松永・合志研究室

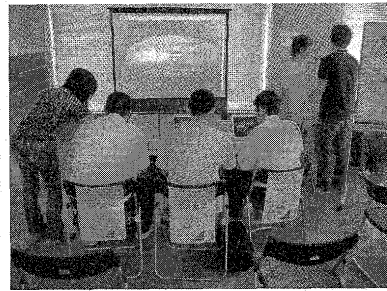


図9 成研究室

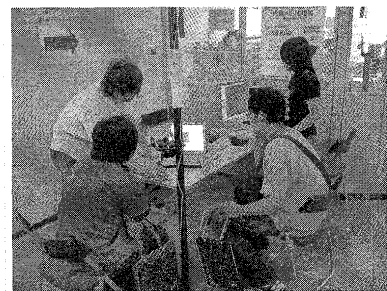


図10 米元研究室

3.3 施設自由見学

今回のオープンキャンパスでは、前回到引き続き施設自由見学として、安武助教の誘導のもと、以下の場所を中心に情報科学部棟の見学を行うツアーを実施しました(図11)。

- 12318CAD 実験室
- 12319・12320 学生実験室
- メインサーバ室、AV 機材室
- その他各種教室

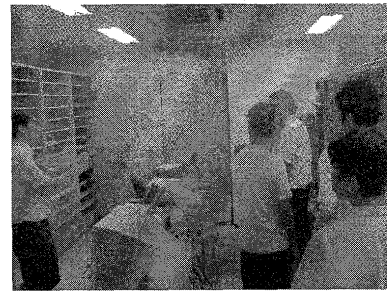


図11 施設自由見学(安武助教)

3.4 進学相談

2号館では一ノ瀬教授と宮崎教授、そして在校生1名(図12)が、12号館では廣田教授が進学相談のためのコーナーにおいて高校生からの質問に対応していただきました。

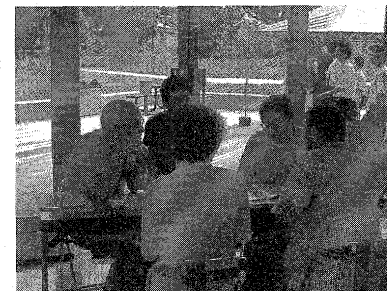


図12 進学相談(一ノ瀬教授、宮崎教授)

3.5 JABEE(日本技術者教育認定機構)技術者教育プログラム「情報科学総合コース」修了証授与式
オープンキャンパス当日14時より12号館3階において、標記授与式が執り行われました。

情報科学部は、2002年4月学部開設と同時にJABEE認定に向けた準備を開始し、教育システムの改善に取り組んできました。2006年度にJABEE認定審査を受審し、「情報科学部(社会情報システム学科・知能情報学科)情報科学総合コース」がJABEE技術者教育プログラムとして認定されました。認定分野は「情報及び情報関連分野」です。

2006年度卒業生から、情報科学総合コースの修了生は、JABEEが認定した技術者教育プログラムの修了生として公式に認められることになり、海外でも一定の水準の教育を受けた技術者として認められることとなります。また、情報科学総合コースの修了は技術士(情報工部門)の第一次試験の合格と同等であるとみなされます。

今回は2006年度の修了生39名を代表して、秦有希子さんにJABEE技術者教育プログラム「情報科学総合コース」修了証が授与されました。

3.6 広報活動

オープンキャンパス開催日以前に、学部イベントに関するオープンキャンパスのウェブサイト*2が公開されました。昨年度から一貫したスタイルのサイトが出来上がりつつあり、今後も報告のページをはじめとして、引き続きサイトの充実に取り組んでいきたいと考えています。

また、当日、学生有志による“呼び込み隊”が結成され、総合案内・受付のある2号館およびその周辺で情報科学部への見学者を呼び込む際にチラシを配布しました。このチラシは、情報科学部棟外を巡回した松永・合志研の電動車両を使ったPR活動においても配布されました。この電動車両によるキャンパス内巡回では、“馬のかぶりもの”を学生がつけていたこともあり、多くの注目を集めていました(図13)。

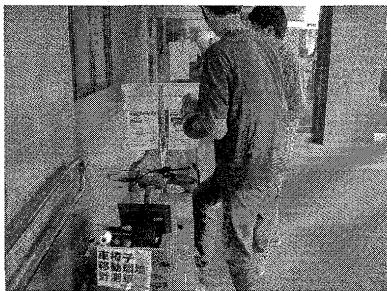


図13 キャンパス内巡回した電動車両

大学全体の総合案内・受付が2号館に移動したことに伴い、2号館に集まっている来場者に学部のイベントをPRするための手段として、「情」「報」「科」「学」「部」の5文字を6階から2階までの各リフレッシュコーナーに1文字ずつ張り出したり、大きな立て看板3枚を2号館周辺に設置しました。

その他、学部教員による高校訪問等において、直接高校に対するオープンキャンパスのPRも実施されました。

4. 実施結果および今後の課題

来場者は高校生を中心に大変多く(表2)、特に午前中に来場者が集中し、模擬講義では教室のほぼ満員という盛況ぶりでした。全体的にも、学生中心のイベントということもあり、とても賑やかな中でのイベント実施となりました。単純に比較はできませんが、来場者数(学部総合案内受付分)は前回開催(2006年10月)に比べ121名の大幅増となりました。

学生主体の実施が3年目となり、イベント数も増え、前回以上により充実したオープンキャンパスとなりました。

表2 学部イベントのべ来場者数一覧

| イベント種別 | 人数 |
|----------------------------|------|
| 学部総合案内受付 | 222名 |
| 模擬講義 <small>午前・午後計</small> | 61名 |
| 体験イベント | 302名 |
| 施設自由見学 | 7名 |

た。いずれのイベントでも、これまでの経験を生かしてより円滑にイベントを実施できたと考えています。

一方、来場者に対する各イベントのアピール不足も指摘されていました。せっかく高校生が来場してくれているのにも関わらず、積極的に自分たちのイベントをアピールできない学生さんを目にしました。このようなイベントへの参加は、単に自分たちの研究や活動を発表するというだけでなく、他人とのコミュニケーション能力を高める練習の場としてもらえれば、より積極的なイベントアピールができるのではないかと考えています。教員の立場から、このようなイベント実施の場を教育的観点から有効に使えるよう工夫をしたいと思います。

また、来訪者を増やす良い手立てがなかなか見つからないという課題を今回も抱えたままとなっています。高校生の“理科系離れ”が指摘されるこのご時世に、学部として直接高校生にアプローチできる数少ない手段の1つがウェブページです。このウェブページは今後のオープンキャンパスに向けて現在も編集が行われています。ウェブページの充実も含めて、次回のオープンキャンパスでは、今回の取り組みをいま一度見直し、来場者に学部や学生生活をより理解してもらえるような工夫を積極的に進めたいと考えています。

最後に、今回のオープンキャンパスにおける学部イベントの実施にあたり、補佐の安武先生をはじめ数多くの教員、事務職員、学生の皆さんにご協力、ご支援をいただきました。この場をお借りして、深く感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

*2 <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/oc2007/>